



# みどり

第7号 令和5年11月8日

目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子



【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

＜「元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子」を目指して～＞  
盛りだくさんの秋、成長の秋です

後期の開始からあっという間に1ヶ月あまりです。各学年では校外学習や遠足、宿泊学習など大きな行事がありました。バスを見送っているといつも満面の笑みで子供たちは手を振ってくれます。そして、「楽しかったー！」とちょっと眠そうに目をこすりながら笑顔いっぱい学校に帰ってきます。行事は通常の学校生活ではない、非日常の環境での生活です。当日お友達と仲良く協力したり、困っているお友達や1年生に優しくできたり、お話を黙って聞くことができたり、お世話になった運転手さんや係の人にあいさつできたり、スリッパや脱いだ靴をそろえることができたり、時間を守ることができたり、ゴミを片付けることができたり・・・たくさんの「できたこと」はこれまでの



学校やお家での生活で身に付けたこと、頑張ったことです。その日だけちゃんとできるわけではありません。日頃から心掛けていたり、努力したり、正しい行いができるようになってきているからです。だから、非日常のわくわく(高揚)とドキドキ(不安)が交錯する場面でもちゃんと正しく気持ちのよい行動ができるのです。それが成長です。子供たちは行事を通していつも大きく成長してくれます。引率の職員やお世話になった施設や担当の方から子供たちが立派な態度だった様子を聞くとても嬉しく子供たちを誇らしく思います。これからも、行事を通して子供たちの成長を支えられるよう努めてまいります。今後もよろしくお願ひします。

また、11月6日(月)には下野市児童表彰式で6年生30名が坂村市長様、石崎教育長様からこれまでの頑張りを表彰していただきました。メダルをかけていただき、賞状を受け取る6年生はとても凛々しく緑小の頼れるリーダーの姿でした。子供たち一人一人が下野市の宝であり、多くの皆さんに支えられているということを実感し、感謝の気持ちがあふれる時間になりました。私からは皆様にお礼の気持ちをお伝えするとともに子供たちに次のようなことを伝えました。



「これまで」と「これから」は「今」でつながっています。今日のこの表彰はみなさんの「これまで」の努力やよいところが形になったものです。そして、それはきっと「これから」のみなさんを支えてくれると思います。今日の日を「これから」につながる節目として欲しいと思います。

そして、11月11日(土)には運動会が控えています。今年は6年生を中心として子供たちが自分で考えて行動を起こして、「主役は君だ！ 全力出して 未来へつなぐ 思いのバトン」のスローガンの下、自分達の手で「最高の運動会」にしようと毎日頑張っています。当日は、わくわくとドキドキが行ったり来たりする中、どんな姿を見せてくれるのか今からとても楽しみです。ぜひ子供たちの姿を通して、これまでお子さんが頑張ってきた練習や活動の様子に思いを寄せて、子供たちを温かく見守っていただきますと幸いです。ご声援お願いします。

子供たちが考えながら活発に活動している姿はとても頼もしいです。子供たちが考えて活動するには、時間も要しますし失敗もあるかもしれませんが、でもそれ以上に大きな成長につながるものだと考えています。これからも様々な機会を通して子供たちの主体的な活動を支えてまいります。

緑小の成長の秋は深まっています。

## 「いいとこさがし」にご協力を…

先月号で「自分っていいなを教えてポスト」を設置することをお伝えしました。早速子供たちは自分のいいところを見つけてポストに入れてくれています。「お友達にやさしくできるところ」「字がじょうずに書けます」「先生の話をちゃんと聞けます」「苦手なものも食べられるようになりました」「給食を残さず食べます」「おてつだいがいだすきです」など温かいエピソードが子供たちからたくさん届いています。そこで、今回はご家庭の皆様にご協力いただけたらと考えました。「お子さんや緑小児童のいいところ」をぜひ教えていただきたいと思ひます。ご協力いただける場合は、右のQRコードを読み込んでいただき、お子さんや緑小児童の良さとお子さんの学年を記入しご返信ください。差し支えなければ回答くださった方のお名前もご記入ください。お名前の記入は任意です。回答期間は11月8日(水)～11月15日(水)とさせていただきます。ぜひお気軽にご協力ください。いただいたメッセージは後日子供たちに紹介させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。ではここで、地域の方から届いた「緑小いいとこエピソード」を紹介させていただきます。先日、教頭先生がお電話でいただいたお話です。「緑小の子供たちはあいさつがいいですね。とてもよくあいさつをしてくれますと地域の方から言われました」とお褒めの言葉をいただきました。子供たちの大きな成長にとっても嬉しくなりました。素晴らしいですね。子供たちのいいところを見つけて下さり教えて下さった地域の方、それを学校に伝えて下さった保護者の方に感謝です。これからも地域に愛される学校でありたいと願っています。



<目指す児童像:きたえる子(生き抜く力の育成)を目指して～みんなが笑顔～>  
いじめ防止強調月間

6月号でもお伝えした通り、11月は6月に続き2回目の「下野市いじめ防止強調月間」です。「①いじめは絶対ダメ!の再確認をしよう。」「②いじめを生まない温かい学校の雰囲気高めよう。」の南河内第二中学校区のスローガンの下、今回も全ての学級で「学級力アンケート」を実施します。アンケートの結果から自分達の学級の「良いところ」に目を向け、良さを生かしてよりよい集団をつくるための手立てや更に良さを伸ばす工夫などを話合います。また、12月に実施予定の人権旬間を前に、人権擁護委員さんをお招きして、代表児童と「いじめのない学校」について意見交換をする人権集会を開いたり、集会の内容を踏まえ各学級で「いじめ防止に関する標語」を作成するなどの活動を計画しています。様々な視点や立場から「いじめ防止」について真剣に考えさせ、子供たち一人一人の心の中に「いじめは絶対にダメ。許さない」という思いを持ち続けられるよう繰り返し指導してまいります。日頃からいじめの未然防止に向け意識を高め、子供たちが安心して安全な学校生活を送ることができるよう努めてまいります。もちろん、子供たちが多くの友達と様々な活動を通して生活する中では、いじめに限らずトラブル等が「ゼロ」にはならないものと考えています。今後も注意深く、そして根気強く指導を重ねてまいります。ご家庭でも、この機会に「いじめ防止」について話題にいただけると幸いです。

<つながりのある学校を目指して ~みんなが笑顔~>  
二中学区小中連携推進中



11月は小中連携活動が目白押しです。6日(月)から恒例のあいさつ運動週間が始まっています。7日(火)の小中交流のあいさつ運動は雨でできませんでしたが、いつも中学生とのあいさつを通じた触れ合いでは子供たちの笑顔が増えます。また、二中の定期テストの日程に合わせて家庭学習強調週間が11月6日(月)から11月19日(日)に設定されています。期間中は「記録カード」への記入を行います。「めあて」の欄を設けて、いつも以上に計画的・意欲的に家庭学習に取り組んでいくよう呼びかけしていきます。ぜひ、ご家庭でもお子さんの家庭学習での頑張りを認め励ます機会として生かしていただきますとありがたいです。また、11月は二中学区体力向上月間となっています。体育では外遊びの推進、給食では朝ご飯食べよう週間、保健では立腰指導の推進など、各ブロックで連携した取組が計画されています。ご家庭にご協力いただくこともあるかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。さらに、先月号でお伝えした通り、11月27日(月)には、南河内第二中学校区クリーン活動が実施予定です。自治会の回覧板でもご案内があったかもしれませんが、お時間の都合がつかましたら、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。このように今月は小中連携強化月間のように活動がたくさんあります。でもどの活動も特別なものではなく日常の学習や生活の延長にあるものだと思います。これからも、このように3校が協力して、ご家庭や地域のみなさんのお力添えをいただきながら、子供たちの成長を支えていけたらと考えています。

<目指す児童像:学び合う子(確かな学力の育成) ~輝くひとみ~>  
「ICT教育の効用」について



先日の下都賀地区校長研修会で教育長部会長のご挨拶の中で、児童生徒用GIGA端末の活用について触れられました。紹介されたのは、内外教育(令和5年6月13日号)の記事の一部でした。

「ICT教育の効用について信頼できる調査は2つある。1つはPISA委員会によるOECD加盟29か国を対象とする調査報告(15年)であり、もう一つはマッキンゼー・アンド・カンパニーが18年に51か国34万人の生徒を調査した報告(20年)である。前者は教室でのコンピューター利用時間が長ければ長いほど学力が低下する結果を示している。後者は、教室のコンピューターは教師一人が活用するときのみ若干の効果(プロジェクトとしての活用は効果)があり、1人1台生徒が使う場合最もダメージが大きい(アジア諸国でダメージが最も大きい)。

コンピューターはプラスにもマイナスにも作用する。現在のICT教育はマイナスのダメージが大きいことを考慮した上で、慎重に活用する必要がある。」「ICT教育の効用」東京大学名誉教授 佐藤 学 より

この記事を読まえて、教師のICT機器活用は効果が大きい反面、各教科での児童生徒のGIGA端末活用には注意が必要であり、時間を決めて、効果的・効率的に活用するよう助言がありました。

物事には複数の側面があり、何事も多角的多面的に捉え、総合的に判断し適切に実践することが重要だと考えています。授業におけるICT機器活用も同じです。メリットデメリット両面あると思います。子供たちの学びを手助けしたり、深めたりするために活用してこそ、その効果が発揮されると思います。そのため、学校ではどうすれば効果的な活用ができるか、市の研修などにも積極的に参加し情報共有して進めてまいります。併せて、本校では授業中の「対話」を軸とした学習活動を通して「伝える力」を育てるための指導の工夫を研究しています。授業で子供たちがお互いの考えや思いを聞いたり安心して伝えたりすることを通して、自分自身の学びを深めることができるよう、学力向上推進リーダーの先生や外部講師の先生方の助言もいただきながら今後も研究推進に努めてまいります。

<お知らせとお願い>

- ・11月25日(土)はPTA主催の「みどRingフェス」が緑小校庭と体育館を会場に開催予定です。詳しくは後日配布のパンフレットをご覧ください。PTA本部役員のみなさんのご尽力により開催されますことに感謝いたします。
- ・引き続き本校のHPを時折のぞいてみてください。学校生活での子供たちの様子や活躍や活動の姿をお届けできるよう努めてまいります。なお、写真については、画質を落としたり、正面の写真でないものを使ったりするなど個人が特定しづらいよう配慮しております。ご了承ください。 [http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e\\_school/midori/index.html](http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/midori/index.html)

